



第一井大



11月

開校150周年プロジェクト

校長 吉川 信次

【新しく付け加えられた3番の歌詞】

僕らの学び舎 笑顔に包まれ
探究の心 忘れず歩む
大一ガーデン 綺麗な桜
花のように 色とりどりの
夢を抱く すてきな仲間
百五十年の 歴史を紡ぎ
未来へはばたけ大井第一
未来へはばたけ大井第一

最近、音楽室の前を通ると「未来へはばたけーおいだいいちー」という歌声が聴こえてきます。この歌は 140 周年の時に作った歌で、150 周年に向けて新しい歌詞（3 番）を付け加え、今年になってリメイクされた記念歌です。10 月の音楽集会では、記念歌を担当した 6 年生が完成するまでの経緯や歌詞に込めた想いを伝え、全校児童で歌いました。また、11 月 12 日の記念集会後に児童全員に渡す記念品が学校に届きました。PTA からの贈呈品ですが、記念品担当の子どもたちが、4 月から何度も何度も検討を重ね、PTA 担当者にプレゼンを行い、協議を重ね自分たちで決めた記念品なのです。

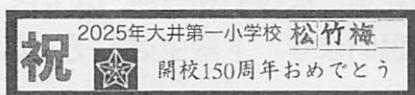
大井第一小学校の周年行事は、子どもたちが主体的に関わり、自分事として捉え、役割や責任をもちながら進められるようにしてきました。今回は開校 150 周年プロジェクトとしての取組を紹介します。

150周年キャラクター「いちごまる」



全校児童から募集し、広い世代に愛されるキャラクターになるように工夫しました。

屋上にある横断幕



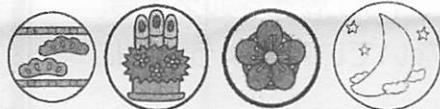
コンパクトに目立つように、学校のよさや特徴が伝わるようにデザイン案を考えました。

記念給食（開校 150 周年）

150周年に花を添えられる給食メニューを考えました。具材や見た目、ネーミングにもこだわりました。6年生の家庭科調理実習でも取り組みました。

クラスマーク

全校児童に呼びかけデザイン案を募り、松・竹・梅・月のイメージを形にしました。



壁画·共同作品



現在の大井第一小
を後世に残したい
という思いで、構
図を左写真のよう
に考え、全校で作
成しました。

150 周年記念児童集会②

11月12日に児童集会を行います。地域にゆかりのある方を招き、集会担当児童との対談形式で話を伺います。昔の大井第一小、周辺の様子について写真を見ながら学んでいきます。

この他にも記念誌、航空写真の図案、カウンタダウンボード、学年展示（学級スローガン・児童作品）等の取組があります。そして、11月15日（土）記念式典に向けて6年生は式歌「ぼくらのエコー」（合唱曲）の練習を一生懸命に取り組んでいます。私はこれまで周年行事を様々な学校で経験してきましたが、子どもたちがこれほどまでに主体的に関わり、教職員やPTA実行委員会の方々と直接やりとりをしながらつくり上げるのは初めての試みです。周年行事は通常の教育活動と並行して取り組むことになるので、子どもたちにとっては少し負担に思うことがあったかもしれません。また、担当者として責任が出てくるので、緊張やプレッシャーもあったと思います。しかし、その過程で繰り広げられた一人一人のドラマが自分自身の成長に繋がっているのです。開校150周年という大きな節目に立ち会える喜びと感謝の気持ちをもちながら、子どもたちと一緒に記念式典に臨みたいと思います。

最後に、これまで様々ご協力・ご支援いただきました PTA 実行委員会の皆様方、地域の方々、ボランティアの保護者の皆様方、本当にありがとうございました。当日もよろしくお願いいたします。

大一体育祭を終えて

体育祭委員長 馬場 久寿

令和7年度 大一体育祭スローガン
150周年の誇りを胸に
栄光のバトンをつなげよう

先日の体育祭は、あいにくの雨により1日順延となりましたが、翌日には天気も回復し、無事に開催することができました。保護者の皆様には、急な日程変更にもかかわらず、多数ご来校いただき、温かいご声援を賜りましたこと、感謝申し上げます。

当日の子どもたちの姿は、まさに成長そのものでした。練習では上手いかなかったことも、本番では仲間を信じて最後までやり遂げる姿。転んでも立ち上がり、ゴールを目指して走りぬく姿。一つ一つの競技に、子どもたちの真剣な眼差しと、仲間と共に頑張ろうとする強い気持ちが表れていました。

特に印象的だったのは、上級生のリーダーシップです。下級生に優しく教える姿、励ます言葉、そして自らが見本となって引っ張っていく姿は、まさに「思いやりの心」の具現化だったように思います。下級生は、そんな上級生の姿を見て、多くのことを学んだことでしょう。

また、体育祭の成功には、保護者の皆様のご協力が不可欠でした。日程が変わったことによる様々なご準備、当日までの健康管理など、体育祭に向けて多大なご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。当日は子どもたちへの温かい声援が送られ、大きな力になったことと思います。

大一体育祭は終わりましたが、子どもたちの成長の物語は続いています。学校では、今回の体育祭で培った協調性やチャレンジ精神を、日々の学校生活の中でさらに伸ばしていけるよう、力を尽くしてまいります。そして、150周年を迎える今、子どもたちがこの経験を胸に、未来へと栄光のバトンをつないでいけるよう、共に歩んでまいります。



＜応援団長による選手宣誓＞



＜開閉会式の練習の様子＞

探究学習が本格的にスタート！

3年担任 田場川 優子

第3学年の探究学習テーマ

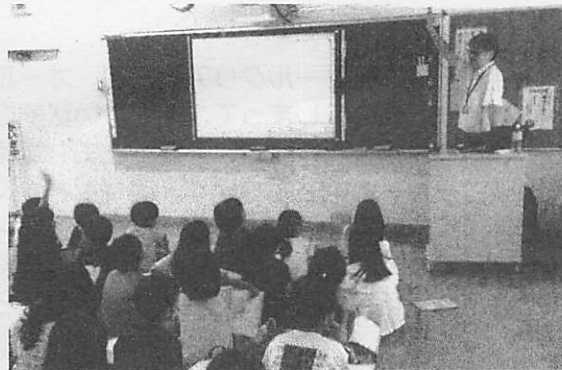
大井町をよりよくするために私たちにできること ～クエストの旅～

9月から探究学習が本格的にスタートしました。今年の第3学年の探究は、「大井町」に焦点をあて、「大井町をよりよくするために、私たちにできること」を提案します。普段授業での関わりがあまりない友達とも交流することでより活発な意見が出ることを期待し、今回の探究は4クラス合同で5、6人の小グループを編成し、学習を進めていくことにしました。

9月初めには、区役所の方に来ていただき、「今の品川区・大井町の現状」と「品川区が思い描く未来像」について文化観光と街づくりの観点から話をさせていただきました。そして、その話を踏まえて、自分たちが探究していきたいテーマと問いをグループごとに決めました。他にもゲストティーチャーをお招きし、探究をしていくための情報収集を行いました。大井町の歴史については、品川区文化財巡り解説員の岸本さんに話を伺ったり、品川歴史館を尋ねて見学をして学芸員さんに話を伺ったりしました。今と昔、そして未来の大井町のあり方を様々な立場の方から話を聞くことで、多様な観点から大井町をより良くするための提案ができるようにしました。

その中でも、子ども達に身近な大森貝塚については、立正大学の紺野先生をゲストティーチャーとしてお招きし、お話しいただきました。大森貝塚についてはもちろん、歴史的な史跡を残す意義についても詳しく知るとともに、人々がどのような道具を使い、どのような暮らしを送っていたのかについて教えてもらいました。実際に、石でどんぐりをすりつぶしたり、粘土に縄文の文様付けをしたりするなどの体験的な学習を通してより理解を深めました。

11月は上記の出前授業と体験活動を活かして、大井町のためにできる自分達なりの提案をする準備をします。12月6日（土）の学校公開で、その成果を発表する予定です。どうぞ楽しみにしてください。



年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて

チャイムスタートをしましょう

保健のめあて

うがいと手洗いをしましょう

給食のめあて

感謝して食べましょう



の予定

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	土		16	日	
2	日		17	月	生活科見学（2年） 縦割り班会議（5、6年）
3	月	文化の日	18	火	全校朝会（放送） デフリンピック（5年） 煙ハウス体験（3年）
4	火	全校朝会（放送） 茶道教室（4年）	19	水	フレンドタイム
5	水		20	木	クラブ
6	木		21	金	音楽朝会 個人面談①
7	金	図書集会 避難訓練 委員会	22	土	
8	土		23	日	勤労感謝の日
9	日		24	月	振替休日
10	月	探究中間発表（3、4年） ※保護者の方の参観はありません。	25	火	全校朝会（放送） 個人面談②
11	火	全校朝会（放送） 理科校外学習（4年）	26	水	個人面談③ 出前模擬選挙（6年）
12	水	150周年記念集会	27	木	個人面談④
13	木	式典リハーサル（6年）	28	金	クラブ発表 個人面談⑤
14	金		29	土	
15	土	150周年記念式典・祝賀会 6年生のみ登校日	30	日	

生活指導部より

オールクリア

～整理整頓で気持ちよく～

3年担任 内田 詩乃

今月の生活目標は「オールクリア」です。オールクリアとは、教室を離れるときや下校するときに、机の上に出ているものをしまって、何もない状態にすることです。授業や休み時間など、席を離れる時に机の上や周りがすっきりしていると、とても気持ちがいいですね。

机の中やロッカーの中も同じです。プリントや文房具が整頓されていると、探す時間が減り、学習にも集中できます。見えるところだけではなく、見えないところも整えることを意識できるとよいです。

子どもたちには時間にゆとりをもつことで整理整頓ができること、また整理整頓をしておくことで時間にゆとりがもてることを話しています。自分から進んで整理整頓ができるようになってほしいと思います。